

国鉄『再建』法案を粉碎せよ

乗務員運用合理化粉碎、検修民託化阻止、大巾運賃値上げ粉碎、ローカル線切り捨て合理化反対！

国鉄「再建」法案は、国鉄経営再建促進特別措置法案は、いま政府・自民党の臨時国会を延長してでも強行成立させようとする攻撃の中で、最重要段階をむかえている。そもそもの国鉄「再建」法案の中心をなす国鉄35万人体制攻撃が乗務員運用合理化として現実の動労「本部」反動分子の卒先協力と屈服によって東京三局を突破口に強行されているのである。従って、われわれは、国鉄当局が現に推進せんとする合理化攻撃に徹底的に対決しつつ、広はんな闘いをもって国鉄「再建」法案の強行成立を阻止しなければならない。

国鉄「再建」法案のねらいは何か

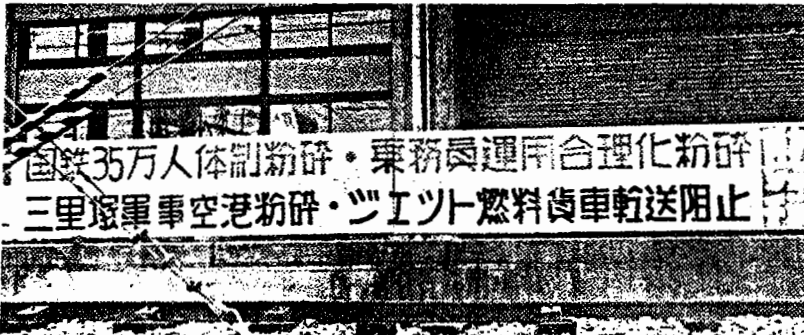
国鉄「再建」法案は、昨年12月の「国鉄再建について」なる閣議了解にもとづいて打ち出されたものであり、具体的には、昨年七月、国鉄当局が運輸省に提出し、同時に発表された「国鉄再建基本構想案」とほぼ同じ内容のものである。

つまり、

- ① 経営の重点化と減量化――地方交通線の切り捨て、
- ② 機構・組織の簡素化、
- ③ 債務の棚上げなど行政上の措置を行なう。
- ④ 85年度までに職員35万人体制を実現し、国鉄の健全経営の基盤を確立する。

この国鉄「再建」法案は、第91通常国会が解散となった結果、一度は廃案となったものであり、今臨時国会にふたたび政府・自民党によって提案され、強行成立せようとしているのである。

この国鉄「再建」法案は、第91通常国会が解散となった結果、一度は廃案となったものであり、今臨時国会にふたたび政府・自民党によって提案され、強行成立せようとしているのである。



国鉄35万人体制粉碎・乗務員運用合理化粉碎
三里塚軍事空港粉碎・ジェット燃料貨車転送阻止

て6兆円を超える累積赤字のもとで、国鉄「再建」の名をもって全てをわれわれ国鉄労働者におしつけようとしているのである。そればかりではなく、自衛隊増強・憲法改悪・靖国神社法案など軍事大国化攻撃の激化と、戦争政策を強行する鈴木自民党内閣のも

今こそ、全国鉄労働者の総決起で
国鉄「再建」法案を粉碎しよう！

こうした国鉄の全職場を一変させる国鉄「再建」法の攻撃に対し、今こそ全国鉄労働者の総決起をもつて闘い抜かなければならない。

しかも、この闘いは、現実に国鉄「再建」法案の具体的攻撃としてかけられている国鉄35万人体制の最大の柱である乗務員運用合理化攻撃と真向から対決する闘いを通して広はん闘いに発展させる以外にはありえないのである。

しかし、国労・動労中央、特に動労「本部」反動分子に至っては、東京三局においてすでに昨年の動労東京地本大会における「協定外要員をはき出す」方針にはじまり、



とで、国鉄輸送体制の抜本的再編と国鉄労働運動解体の攻撃として国鉄「再建」法案が強行されようとしているのである。

昨年12月段階で、乗務員運用合理化の当局提案を受け入れ、今年55・10ダイ改時点で卒先協力・屈服してしまっているのである。

そして、いま、臨時国会における国鉄「再建」法案の強行成立阻止のみを叫んでいるのである。われわれは、「再建」法の成立阻止と同時に、乗務員運用合理化攻撃をはじめとする検修民託化・大巾運賃値上げ・ローカル線切り捨て合理化攻撃など現実にかかけられているこの法案の具体的攻撃とも真向から対決し闘い抜かなければならないのである。われわれは、この間の55・10月総決起、11・1運用合理化粉碎へと闘い抜いてきた力で、国鉄「再建」法案粉碎の闘いへさらに前進しよう。

日刊 動労千葉

80.11.21

No.588

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）（五三）二七二〇七

家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！